

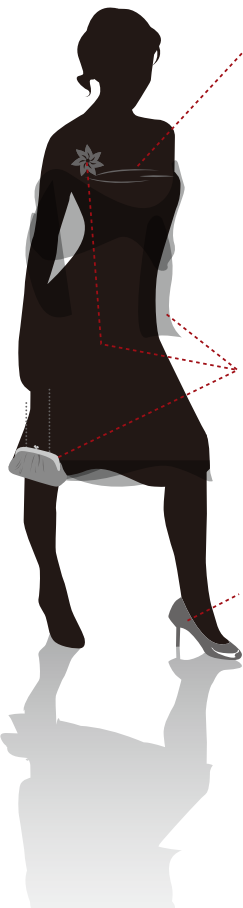


大人の嗜み vol.03

～服装編～

美しき結婚式マナー

結婚式は人生の節目。しっかりとした礼儀をもって友人知人をお祝いしたいですね。しかし実際は、毎回曖昧なままなんとなく…で終わっていませんか？そんな方は要チェック！



ドレスのチョイス

結婚式はあくまで主役である花嫁・花婿をお祝いするためのもの。目立ちすぎる色や形は避けましょう。

×**全身黒**…弔事のイメージで不吉。厳禁！
コサージュなどで華やかに。

×**全身白**…花嫁が目立ちません！厳禁！

×**露出**…背中や胸元が大きく開いていると下品な印象に。

×**生足**…ストッキング着用が常識です。

※**和服**…着物は、自分と花嫁・花婿との関係性を考え、ふさわしい格の着物を選ぶこと。

小物のチョイス

昼の式では露出を少なめに。ストールやボレロを使い、肩や二の腕の露出を抑え、上品に飾りましょう。コサージュは上品で華やかな演出をする助っ人です。バッグはアクセ感覚のパーティーバッグを。荷物は最小限、物を詰めすぎるのは厳禁です。

靴のチョイス

皮やエナメル、サテン等のツヤが出る素材がいいでしょう。ヒールが3cm以上のパンプスが主流。ストラップのないミュールはカジュアルすぎるため、避けましょう。

×**アニマル柄**…上品さに欠けます。

×**オープントゥ**…つま先の露出は厳禁

×**ブーツ**…パーティ向きではありません。

ワンポイントアドバイス

- ①靴のヒールは高いほどフォーマル度がUPする
- ②ドレス・小物は無地で上品に。光沢ある生地で華やかに
- ③髪はアップスタイルの方が上品に見える
- ④小物は機能性を重視しない。厚物のストール・大きなバッグは×

結婚式の服装は、自分の年齢や立場を考えて選びましょう。このポイントを守り、祝いの心を忘れないことが大切です。そしてその中にお洒落を取り入れるのが、真の大人の女性。

ディレクターズスーツで洗練された大人に

ブラックスーツに普通のネクタイを着用して終わり、では少し時代遅れ。ディレクターズスーツとは、ブラックスーツの上着にモーニング用の縞のストラックスを組み合わせたもので、英国式の昼礼装です。様々なアレンジが効きますので、正式な礼装を必要とする場面はもちろん様々なシーンで活用できます。

一般的なブラックスーツでも、シングル1ボタンのスーツ+アスコットタイ(スカーフ風の幅広のネクタイ)+ベスト+ウィングカラー(立ち襟で首元が羽のように開いている)シャツで、一気にフォーマル度アップの洗練コーディネートに。ジャケットやシャツ・タイの色や形でガラリと雰囲気が変わるのが男性の礼装の魅力ですね。

番外編 言葉のマナー

心から祝うことが一番ですが、やはり礼儀は必要。言葉についてもマナーを知り、服装態度ともに立派な大人の品格を身につけましょう。

■受付を頼まれた！

受付の簡単な流れは以下のとおり。

- ①「お忙しいなか、ご出席いただきありがとうございます」
- ②「恐れ入ります。こちらにご署名をお願いします」
芳名帳を手のひらで指し、氏名住所を記入してもらう
- ③ご祝儀を差し出されたらお礼を述べ、必ず両手で受け取る

※まずは式場の造りがある程度知っておきましょう。

トイレや喫煙所等、場所を聞かれる可能性アリ。

■スピーチを頼まれた！

スピーチなどを頼まれた場合、下記のような離婚や再婚など、離別を思わせる忌み言葉や負の言葉は避け、他の言葉に置き換えましょう。例：ケーキを切る→ナイフを入れる

相次いで/飽きる/浅い/薄い/帰る/欠ける/重ねる/変わる/消える/去年/切る/繰り返す/断る/壊れる/最後に/裂く等